

令和4年度 三重県立公衆衛生学院自己評価結果

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン（平成25年3月準拠）

1 学校の教育目標

学校教育法第124条の規定に基づき、歯科衛生士法による歯科衛生士に必要な知識、技術を習得させ、あわせて豊かな人間性と責任感を涵養し、広く社会に貢献しうる有能な職業人を養成する。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本校の特徴となっている「全国平均を上回る国家試験の合格率」の実現に向けて、本年度も学院を挙げて一丸となり全力で取り組むとともに、歯科衛生士としての活動の意欲を高めるための活動に取り組む。

目標：国家試験合格率100%

キャリアデザイン学習の実施 1回以上

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切4、ほぼ適切3、 やや不適切2、不適切1
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	3 2 1
学校における職業教育の特色はなにか	3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3 2 1
学校理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

1 本学院は県立の歯科衛生士養成校として、歯科衛生士に必要な知識、技術の習得と、豊かな人間性と責任感を涵養し、広く社会に貢献しうる有能な職業人を養成することを目的とし、口腔の保健管理と機能向上に寄与する人材の育成を目指している。

【 、 】

2 地域の医療機関等に優れた人材を提供することで、地域社会の期待に応えられる学校づくりを目指している。【 、 】

3 教育方針等は、県ホームページ、学院要覧、学校要覧、学院祭、学校説明会、高校訪問等で広く周知を図っている。【 】

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	3 2 1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 学院の管理運営等は、関係法令及び県条例等により規定されている。【 、 、 、 】
- 2 毎年、カリキュラムを作成し、講義や実習の概要等明示し、年間の教育計画に沿って確実に実施している。【 】
- 3 人事、給与に関しては県条例等により規定されている。【 】
- 4 県危機管理計画や県電子安全対策基準等に基づき、危機管理意識向上研修の実施や情報セキュリティ対策に取り組んでいる。【 】
- 5 情報公開は、県条例に基づいて適切に運用している。【 】
- 6 県庁LAN、グループウェア、図書管理システム、業務のデジタル化などにより、効率化が図られている。【 】

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3 2 1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3 2 1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	3 2 1
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3 2 1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3 2 1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマネジメントが行われているか	3 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 教育計画の編成は、指定養成校として定められた教育課程に基づいて実施している。また、国家試験対策としての講義等を実施している。【 、 、 、 、 、 】
- 2 講師会議や臨床実習検討会により、医療機関、実習先等の意見を参考にしている。また、学校関係者評価懇話会を設置して学校関係者評価を実施するとともに、関係団体、教育機関、保護者からの教育に関する提言等を受けている。【 、 】
- 3 学生による授業評価を実施し、授業の改善につなげている。【 】

- 4 成績評価や認定基準は学則等で定め、適切に運用している。また、学生の手引きに掲載し、学生に周知している。【 】
- 5 第一線の医療現場や高等教育機関で活躍されている外部講師を迎え、教育の質の確保に努めている。【 、 】
- 6 教員は全国歯科衛生士教育協議会等が実施する研修会の受講や日本歯科衛生士学会や日本歯科衛生教育学会に所属し資質向上に努めている。また、県職員研修センター等が実施するオンライン研修等により、職員の能力と資質の向上を図っている。【 、 】

課題

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響で陽性者や濃厚接触者など出席ができない学生に対し、オンライン授業を行った。接続方法等すべての教員が使用できるようノウハウを共有した。
しかし、複数の学生が対象になる場合など接続等にトラブルがあったことから環境を整備する必要がある。また、コロナ対応だけでなく国家試験対策を行うインフルエンザ流行時にも活用できるので対策を行う必要がある。
- 2 引き続き、教員の資質向上を図る必要があるため、協議会等が実施する研修会以外の研修会等の受講環境をさらに充実していく。

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
就職率の向上が図られているか	3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	3 2 1
退学率の低減が図られているか	3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている

特記事項

- 1 進路相談や指導による就職支援等により、ほとんどの卒業生が就職した。【 】
- 2 国家試験対策の授業等を実施することで、国家試験合格率は100%である。【 】
- 3 それぞれの学生に応じたきめ細やかな学修支援等を実施しており、令和4年度は休学や退学する学生はいなかった。【 】
- 4 同窓会組織を活用し、卒業生の就労状況等の把握や研修等の連絡を行う意向であるが、卒業長期間経過している卒業生の中には、連絡がとれていない者も多数ある。引き続き、同窓会と連携をとり、ホームページやインスタグラム、SNSなどを活用し、情報発信や状況把握に努めたい。【 】
- 5 様々な形態の医療施設等で実習を行うことで、多様な現場における適応力の醸成に努めている。【 】
- 6 様々な機関で活動をしている卒業生を招聘し、授業で活動の様子を聞くことで社会での活動をイメージでき歯科衛生士としての活動意欲の向上に役立っている。【 】
- 7 今年度、卒業1年の卒業生に対し、就労状況や学校の教育活動の効果等の調査を行った。【 】
- 8 今年度、卒業1～2年目の卒業生を対象に、三重県歯科衛生士会と協同で卒業研修会を実施した。参加者が少なかったものの、必要性があることから、引き続き、県歯

科衛生士会と連携し、研修方法等を検討しながら実施を予定。【 】

課題

- 1 学生には早くから国家試験に向けた準備に取り組む意識を高めさせるとともに、これまで以上に各学生の状況に合わせた修学支援等が必要である。
- 2 全卒業生の活躍や評価を把握ができていないことから、調査方法、調査結果の活用方法等を検討していくことが必要である。

(5) 学生支援

評価項目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	3 2 1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	3 2 1
保護者と適切に連携しているか	3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	3 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 2 1
高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3 2 1
実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者の同意を得た上で、実習を実施しているか	3 2 1
実習において、学生が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善を講じているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 ほとんどの就職先が県内医療機関であり、きめ細やかな就職関連情報の収集、提供を行っている。【 】
- 2 1、2年生は年2回（9月、3月）、3年生は就職活動時期に個人面談を行っており、学業だけでなく生活面等についても相談に応じている。また、小規模校の特性を活かして、教員と学生が距離の近い関係を構築し、日常的に様々な相談に応じている。【 】
- 3 県条例で住民税非課税世帯等の学生の授業料の減免制度を定めており、令和2年度から実施された国の高等教育の修学支援新制度による授業料等の減免制度の対象校としての認定を受けている。また、実習先への交通費の負担軽減のための通学定期申請を行っている。日本学生支援機構の奨学金や卒業後の負担軽減につながる県の奨学金返還支援事業助成金制度の周知と活用支援を行った。【 】
- 4 健康管理については、年1回、学生の定期健康診断を実施し、診断結果に応じてフォローしている。また、保健室を設置するとともに、小規模校の特性を活かして、看護師の資格をもつ教員を中心に、学年担任と連携し、常に教員が学生の心身の健康状況について注意をはらい、ケアを行っている。さらに、外部講師のアドバイスを得ながら、メンタルへ

- ルスについても相談に応じている。【 】
- 5 有意義な学院生活のために、後援会との共催事業として、これまでは、スポーツ大会を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度も実施できなかった。ただ、3年生の研修旅行(歯科機器メーカー視察)は感染状況を見ながら実施することができた。【 】
 - 6 長期休暇中の自宅学習に課題がある場合には、教室、図書室等を解放している。【 】
 - 7 経済的に困難な学生の奨学金等支援策などの情報について談話コーナーや教室等にチラシ等を掲示するなど、情報提供に努めている。【 】
 - 8 学生の相談内容に応じて、家庭の支援が必要な場合等は保護者に連絡するなどの連携を行っている。【 】
 - 9 卒業生への聴講制度や図書室の一般開放により、卒業生のスキルアップ支援や県民への教育環境を提供している。県歯科医師会が主催する研修会等に参加するなど、他団体と連携して歯科衛生士のスキルアップにつながる取り組みを実施している。【 、 】
 - 10 今年度、卒後1年の卒業生に対し、就労状況や学校の教育活動の効果等の調査を行った。【 】
 - 11 教員が進学セミナーへの参加や高校訪問を行い、学院や歯科衛生士に関する説明を行うとともに、学院祭(オープンキャンパス)では学生による高校生への学院生活の説明やアドバイスを行っている。【 】
 - 12 倫理的配慮に関する要領を作成し、学生に周知のうえ実習を行っている。【 】
 - 13 学生に事故報告書を提出させ、情報の把握と共有を行い、発生原因等の分析と学生への注意喚起等を行っている。【 】

課題

- 1 社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備については、まず、ニーズの把握を行うために今後も定期的に SNS や LINE などを活用し、卒業生に調査を行っていく必要がある。

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上(適切、ほぼ適切)を満たしている。

特記事項

- 1 施設・設備は歯科衛生士養成所設置基準等の関係法令の要件を満たしており、図書室、保健室、学生ホール等、学習支援の施設が整備されている。また、新型コロナウイルス感染症の影響による学外からのオンライン授業を円滑に実施できるよう、学内の教育用インターネット環境を強化している。
なお、今年度、授業等で使用する学生用パソコン 30 台を更新し、IT 関連授業が円滑に実施できるようになった。【 】
- 2 空調、消防設備、照明設備については老朽化が課題になっていたことから、今年度更新を行った【 】
- 3 教育計画の3分の1は実習であり、学院近隣の教育機関における臨地実習とともに、交通便利性の高い立地条件の臨床実習施設を確保している。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実習生の受入れが中止となった施設での実習については、他施設への振

替や学内実習で対応した。また、陽性者・濃厚接触者で実習を欠席した学生に対し、実習施設で補習を実施した。【 】

- 4 毎年、防火設備の点検とともに、年1回、消防署の指導による職員及び学生による消防・避難訓練を実施し、防火・防災意識の向上を図っている。また、災害時の対応、歯科衛生士としての役割等についても専門の講師から学んでいる。【 】

課題

- 1 移転後25年が経過し、教育活動に支障は生じていないものの設備等の経年劣化が進んでいる。また、実習用機器も老朽化が進み、10年以上前の機器であるため、現在歯科医院等で使用されている機器との乖離があることなどから、計画的な設備の更新整備が必要である。【 】
- 2 臨床実習施設については、今年度新たに受入病院を見つけて実習を行った。今後も、学生の利便性等を考慮した臨床実習施設の拡大が必要である。【 】

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	適切4、ほぼ適切3、 やや不適切2、不適切1
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組は行われているか	3 2 1
学生募集活動は、適正に行われているか	3 2 1
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3 2 1
学生納付金は妥当なものとなっているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 県内高校を対象とした進路指導担当者説明会への参加や高校訪問を行うとともに、学院祭及び学校説明会の開催、学生募集要項、学校要覧、学校案内、学院ホームページ等の媒体を使って情報提供と学生募集を行っている。【 、 、 】
- 2 受験料、入学金、授業料は県条例で規定されており、適正に運用されている。また、より充実した教育を行うための実習材料や研修費として学年納付金を徴収しており、収支決算状況は学内の監査により適正に管理している。【 】

(8) 財務

評 価 項 目	適切4、ほぼ適切3、 やや不適切2、不適切1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 県条例で規定する受験料、入学金、授業料は県一般会計予算の歳入とし、学校運営費は県一般会計予算の歳出により賄っている。予算執行にあたっては関係法令や会計規則等により適正に行われている。【 、 】
- 2 毎年、県監査委員事務局の定期監査と県出納局の検査を受検している。【 】
- 3 県議会への予算決算報告や、県情報公開条例により適正に行われている。【 】

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3 2 1
自己評価結果を公開しているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 歯科衛生士養成所指定規則等の法令に基づき適正に運営している。【 】
- 2 個人情報の取扱いや情報セキュリティーについては県庁全体で取り組んでおり、職員研修の受講など、適正に実施している。【 】
- 3 自己評価を実施し、ホームページで公開している。【 、 】

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切 4、ほぼ適切 3、 やや不適切 2、不適切 1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3 2 1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3 2 1

点検結果

全ての項目で3以上（適切、ほぼ適切）を満たしている。

特記事項

- 1 図書室の一般開放により、県民への教育環境を提供している。【 】
- 2 例年、歯と口腔の健康展への参画や、キッズおしごと広場での学生ボランティア、いい歯の日の啓発活動に参加しており、予定はしていたが、昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となり参加できなかった。【 、 】
- 3 三重県歯科医師会、三重県が主催する啓発イベントに参加した。【 】
- 4 例年、学生が小学校や認定こども園で、子どもを対象とした口腔の衛生教育活動を実施しており、今年度もそこで使用する啓発物品・資料を作成し、準備をしてきた。しかし、

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。【 】

○課題

- 1 新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが変わることから、今までできなかった啓発活動やボランティア活動を再開していく必要がある。